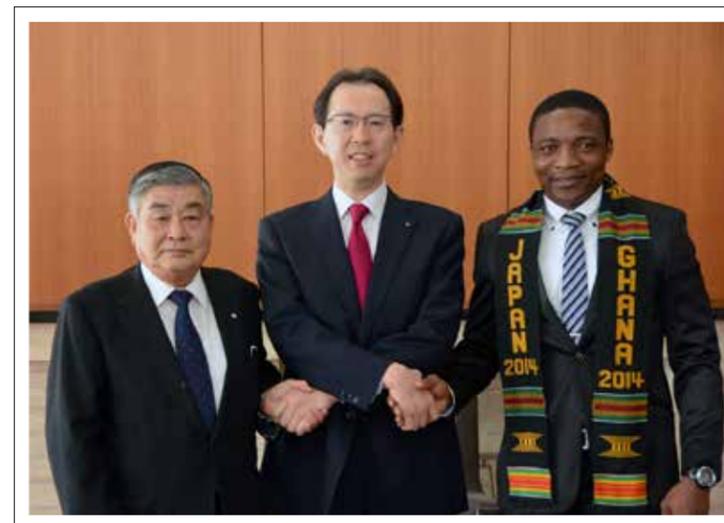


Pick Up

今月のイベント

本町が東京オリンピック
パラリンピックの
ホストタウンに



内堀知事(中央)に報告し、握手を交わす前後町長(左)。右は同席したガーナ共和国出身で町外国語指導助手のフォーチュネイト・セイラム・アドゥクボさん

2020年東京オリンピック・パラリンピックに参加する海外の選手らと地域住民の交流を促進する政府の「ホストタウン」構想で、ガーナ共和国を相手国とする本町が登録されました。

ホストタウンは、自治体が事前キャンプの誘致や参加国・地域の選手や関係者との交流を通じた交流を実施し、地域活性化や観光振興につなげることを目指す事業で、政府が費用の半額を補助する仕組みです。

25都道府県の44自治体が1月26日、第一次登録に決定され、本県からは本町とオランダを相手国とする郡山市の2市町が登録されました。

前後町長は1月28日、県庁を訪問し、ホストタウンに正式登録されたことを内堀雅雄知事に報告。「おもてなしの心を持って、全町民を挙げて取り組んでいく」との考えを示しました。

町は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、郷土の偉人、野口英世博士が黄熱病の研究で訪れた縁で交流のある、ガーナ共和国の人々と町民との絆を、より一層強めていきたいと考えています。

町議会議員 15人決まる

議長に長沼一夫氏
副議長に後藤公男氏

任期満了に伴う町議会議員選挙の開票が2月21日に行われ、即日開票により、15人の議員が決まりました。

今回の選挙は2月16日に告示され、15議席に対し、現職11人、新人3人、元職3人の合わせて17人が立候補。投票率は68・27%で、前回の70・15%を下回り過去最低となりました。当日の有権者数は1万2549人(男性5950人、女性6599人)。

当選証書の付与式は2月22日、町役場で行われ、小松山憲作町選挙管理委員会委員長が当選者に手渡しました。任期は3月1日から平成32年2月29日までの4年間です。

3月1日には初議会が開かれ、正副議長や常任委員など、議会の構成を決定しました。正副議長の選挙では、議員による投票の結果、議長に長沼一夫氏、副議長に後藤公男氏が選出されました。

議員の皆さんを紹介します(敬称略)。年齢は2月16日現在。①年齢②行政区③党派④当選回数。



星野あけみ

①45歳②上ノ上③公明党④1回



瀧田 勝昭

①58歳②八千代③無所属④1回



佐瀬 真

①62歳②八千代③無所属④2回



細貝 功人

①63歳②翁島駅前③無所属④2回



佐藤英一郎

①66歳②木地小屋③無所属④2回



大橋 清喜

①67歳②大在家③無所属④2回



渡辺 二公

①73歳②中町③無所属④2回



長澤 操

①65歳②沼尻駅前③無所属④3回



金本久美子

①68歳②神明町③無所属④3回



渡辺真一郎

①68歳②沼ノ倉③無所属④3回



五十嵐ミエ子

①69歳②東館③日本共産党④3回



佐藤 光幸

①62歳②金曲③無所属④6回



関沢 和人

①69歳②夷田③無所属④8回



後藤 公男

①63歳②荻窪③無所属④4回



長沼 一夫

①73歳②富永③無所属④6回

広報 猪苗代

Mar.2016
3
No.665



今月の表紙

雪下キャベツ収穫体験で、一生懸命キャベツを掘る子どもたちを横目に、ムシャムシャとキャベツをかじっていた深谷一嘉くん(3歳)。パパが作った、このあまーいキャベツが大好きで、いつも生で食べているのだとか(関連16ページ)。

【撮影日】1月30日
【撮影場所】夷田地区

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 町議会議員 15人決まる
- 04 特集 10年先の未来を考える
- 12 野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会／中高生がスキーで大活躍
- 14 まちのわだい
- 17 笑顔でこんにちは／スクールトピックス
- 18 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー